



令和3年度 学校だより

北醍醐2月号



<学校評価アンケート結果特別号>

令和4年2月25日
京都市立北醍醐小学校
校長 城野 健司
TEL : 075-572-5353

《令和3年度 学校教育目標》

仲間と未来を創造し 自ら挑む子どもを育てる
～ やる気 粘り強さ、思いやりの心 ～

<目指す子ども像>

- ◎自分の思いを表現できる子（はなす かく） ◎他者と協働し行動できる子
- ◎命を大切にできる子（生き方・人権・生命） ◎挑むことができる子

令和3年度第2回「学校評価アンケート」にご協力いただきありがとうございました。結果をご報告いたします。

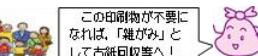
本校教育活動について第2回目の学校評価アンケートを実施させていただきました。今年度より、インターネットを活用した回答を導入させていただきましたが、保護者の皆様にはご理解とご協力を賜り、学校評価アンケートを実施することができました。有難うございました。

児童、保護者、教職員へのアンケート11項目を集計し、「よくできている」「大体できている」を合わせて実現度として示させていただきます。

R3 「学校評価アンケート」結果

児童	実現度		保護者	実現度		教職員	実現度	
	前期	後期		前期	後期		前期	後期
①学校に行くのは楽しい。	93.4%	92.1%	①お子さんは、安心して楽しく学校に通っている。	96.7%	96.1%	①「目指す子ども像」を意識して取り組み、児童が安心して活動できるよう教育活動を進めている。	100.0%	100.0%
②友だちにやさしくし、仲よく学習したり活動したりしている。	95.4%	95.0%	②お子さんは、友だちにやさしくし、互いに気持ちよく関わり、仲よく学校生活を送っている。	95.8%	96.9%	②互いを大切にする子どもの育成を目指し、「～さんで呼ぶ」「正しい言葉遣い」等を指導し、児童の身についてきている。	93.8%	100.0%
③自分からあいさつしている。	86.2%	77.9%	③お子さんは、家や地域で進んであいさつしている。	73.3%	78.0%	③進んで挨拶するような指導や褒める評価をし、子どもは意欲的に活動するようになってきている。	92.9%	92.9%
④困ったときや分からないときは、先生に相談している。	76.3%	75.7%	④学校は、子どもについて気軽に相談でき、適切に応じてくれる。	91.7%	90.6%	④子どもや保護者の相談に適切に応じられている。	92.3%	92.9%
⑤授業では、めあてを意識して学習し、わかったこと、わからなかったことをふりかえっている。	84.9%	82.9%	⑤お子さんからは、授業で積極的に学ぼうとする様子がうかがえる。	81.8%	85.8%	⑤ねらいを明確にし、教える事と児童が主体的に活動する事を計画し、児童の身についてきている。	90.9%	92.9%
⑥学校や家で、自分から読書している。	75.7%	70.7%	⑥お子さんは、読書に親しんでいる。	58.5%	56.7%	⑥読書や図書の活用を意図的に指導し、児童自らが進んで読書活動をするようになってきている。	58.3%	83.3%
⑦家で学年に合った家庭学習をしている。（1年生15分、2年生30分、3年生45分、4年生60分、5・6年生60分～90分）	71.1%	71.4%	⑦お子さんは、「15分×学年（5・6年生は60分～90分）」の家庭学習（宿題）の習慣が身についている。	67.8%	78.0%	⑦授業と家庭学習を連動させた課題や、読書活動を位置づけた家庭学習の充実に取り組んでいる。	72.7%	72.7%
⑧学校のきまりや交通のルールを守っている。	94.7%	93.6%	⑧お子さんは、学校のきまりや安全のルールを意識し、守っている。	96.7%	96.9%	⑧きまりや安全のルールを守ることが行動化され、児童に定着してきている。	85.7%	100.0%
⑨毎日、決まった時間に早寝早起きをし、顔をあらって歯みがきをし、朝ごはんを食べて登校している。	91.4%	85.0%	⑨お子さんは、十分な睡眠をとり、早起き、洗顔、歯みがきをし、朝ごはんを食べるなど基本的な生活習慣が身についている。	93.3%	92.1%	⑨基本的習慣や自らの健康・命を守る意識の高揚と行動化に取り組み、児童の身についてきている。	100.0%	92.9%
⑩学校では、安全に気をつけて安心して活動している。	94.7%	95.0%	⑩学校は、安全面における適切な配慮をしている。	96.7%	96.9%	⑩ルール遵守や危険予測の指導を進め、自ら判断し適切に行動できる力や、社会的な規範意識の高揚に取り組み、児童に定着してきている。	83.3%	91.7%
⑪下級生に優しく接することや、自分が上級生になっていくことを楽しみにしている。	92.8%	92.9%	⑪お子さんは、下級生を大切にしたり、上級生と仲よくしたりしている。	88.4%	92.9%	⑪児童は、縦割り活動を中心に関係を大切にしたり、下級生に優しくしたりしている。	75.0%	92.3%

子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で



「子どもたちは育ぶ市民憲章」を実践しましょう！

<今後も伸ばしていくこと>

児童項目「①学校に行くのは楽しい。」保護者項目「②子どもは、友だちにやさしくし、互いに気もちよく関わり、仲よく学校生活を送っている。」児童項目「⑪下級生に優しく接することや、自分が上級生になっていくことを楽しみにしている。」など項目の結果からは児童・保護者ともに実現度が9割を超え、友だちとの関わりを大切に、学校生活を送っている様子がうかがえます。学校教育目標である「仲間と未来を創造し」合える人間関係作りが築き上げられている部分でもあります。今後も悲しい思いをする児童が一人もいない学校であるために、相手を思いやる行動の実践を続けてまいります。そして、困っている友だちを放っておかない優しさや、誰に対しても同じ態度で接する公平さを大切にし、「やる気 粘り強さ、思いやりの心」を育んでまいります。



児童項目「⑧学校のきまりや交通のルールを守っている。」保護者項目「⑩学校は安全面における適切な配慮をしている。」どちらの項目も児童・保護者ともに実現度の割合は高い値を示しました。警察署交通安全課の方をお呼びして毎年行っている1年生の交通安全教室や4年生の自転車教室は今年度も実施できませんでしたが、4・5年生はオンラインでの自転車交通安全教室を受講しました。机上の学習であっても、もしもの時に「命を守る」ための行動を自分で判断できるよう、自らで考える安全学習を行っていくとともに、教職員の安全研修も積み重ね、安心して過ごせる学校づくりを進めていきたいと思います。

<さらに取り組むべき課題>



読書について問う項目では、児童・保護者ともに前期同様、低い結果となっています。感染拡大防止対策のため図書室への来館の学年を制限していることもあり、中間休みや昼休みといった休み時間の来館は少ない傾向にあります。そこで図書室を各学年およそ週に1回程度、図書室に足を運んで本に触れる時間を設け、他教科の授業中にも課題が終わった人から読書を楽しむ場面を設定しています。また図書館司書のブックトークや地域の子うま文庫さんによる読み聞かせなども感染状況を見ながら実施を進めています。一方先生のおすすめの本紹介として教職員のおすすめの本を学期ごとに掲示するなど、児童が色々な本を手に取りやすい整備にも取り組んでいます。子どもたちの読書習慣が少しずつでも高まっていくように取組を進めてまいります。

児童項目「⑨毎日、決まった時間に早ね早起きをし、顔をあらって歯みがきをし、朝ごはんを食べて登校している。」では、前期よりも下回る結果がみられました。冬休み明けに実施した生活調べでも早寝早起き、朝ごはんの項目は高い値となっていましたが、朝の歯みがきができていない児童がみられる結果となっていました。感染拡大防止の観点から給食後の歯みがきの実施ができていませんが、家庭での歯みがきの様子をまた見ていただけると幸いです。学校でも、低学年は学級活動の時間、3年生以上は保健の学習で歯みがきや生活習慣について学習を進めていますので、さらに児童が自分ごととしてとらえ、日々の生活に生かしていくよう取り組んでまいります。

～学校生活全体に関わる貴重なご意見をいただきました～

学校アンケートにご協力いただき有難うございます。また、ご意見やご感想をお寄せいただき重ねてお礼申し上げます。ここでは、学校教育活動全般に関わる内容に対しての回答を記載いたします。個別の内容につきましては、別途ご相談や対応をしてまいりますのでご承知おきください。

◎学級閉鎖時の学習課題について、家庭や学校の負担軽減からご提案をいただきました。

今後は、プリント類でのやり取りから学年に応じて児童用タブレットで課題に取り組めるようにしてまいります。

◎家庭と学校間での連絡方法についてご提案をいただきました。

連絡方法については、将来的に連絡帳等の紙ベースでの方法から携帯電話やパソコンを利用した方法へ、課題が解決したものから移行していく見通しです。その際には、ご協力ををお願いします。

◎集団登校について

集団登校は、児童の安全を第一に子どもの心を育てる活動です。ご指摘のように、その目的が達成できていない場合は、学校や保護者の皆様が同じ方向で、子どもたちに声をかける必要があると考えます。学校としても状況を把握し、目的が達成できるよう指導してまいりますので、保護者の皆様も同じ視点でご支援をお願いいたします。

◎高学年男子にも更衣室があればというご意見です。

現在、高学年の教室に近い空き教室は、学習室として活用する時間帯があるため、常に使用できるとは限りません。高学年男子の更衣について検討してまいります。

◎体力づくりに関してご意見をいただきました。

感染症拡大防止対策から運動面での活動が十分に出来ていないのが現状です。その中でも、体力を維持する活動は体育科を中心に行ってまいります。

◎まなび教室や部活動についてご意見をいただきました。

上記の取組を常に開催できれば良いのですが、感染拡大の状況では、学年を越えて交わる学校教育活動も全て中止し、感染防止に努めています。その点から『まなび教室』や『部活動』等は『異学年かつ1学級と同等数の児童が集まる取組』であるため、今後も感染が懸念される期間中は休止し、感染の拡大防止に努めてまいります。

◎『登山会』のボランティアについてご提案をいただきました。

来年度は、ポイントでの見守りボランティアについても検討してまいります。お声をいただき有難うございます。

お忙しい中にも関わらず、ご意見やお声を届けてくださいり感謝申し上げます。このほかにもたくさんのお褒めの言葉や励ましのお声をいただいておりますことに、重ねて感謝申し上げます。有難うございました。

ご協力ありがとうございました。